

京林大だより

No.4



絵:京林大生 熊走君



10月21日（日）、気持ちの良い秋晴れのなか、わちグラウンドで「和知地区親善バレーボール大会」が開催されました。京林大生の参加者は5名。京林大生たちはそれぞれ異なったチームに分かれて戦い、和気あいあいとした雰囲気の中、地域での親睦を深めました。

京林大生、地域で交流

和知地区親善バレーボール大会、
阿上三所神社祭りに参加

10月6日（土）、阿上三所神社（和知地区本庄）の秋祭りに京林大生が参加し、本庄から小畑まで約3kmの道程を神輿を担いで練り歩きました。参加した船越君はJR和知駅前の露天市を手伝っているだけに地域での顔なじみもあり、すっかり打ち解けた様子でした。



京林大生の募集中心！ 下宿情報

平成25年4月に入学する京林大生の住まい情報を探しています。

空き家、空き離れなど、林大生の住まいとして利用させていただける住居の情報がありましたら、ぜひお寄せください。

お問い合わせ窓口

京都府立林業大学校 Tel. 0771-84-2401
京丹波町役場和知支所 Tel. 0771-84-0200



ようこそ 京林大文化祭へ



10月28日（日）、二本松学院キャンパスで行われた二本松学院の文化祭に、学院のご厚意で京林大もブースを設けさせていただきました。

京林大からの出店はパチンコ射撃。パチンコの玉はドングリ、景品は丸太で作った鍋敷きをはじめとする木工品と、いかにも林業大学らしい雰囲気でした。



京林大のヒミツ

— 京林大生の通学 —



今回は、JR通学する京林大生からのレポートです。

朝、園部方面から来る電車の和知駅到着は8時ちょうど。2両編成のディーゼルカーの中はどんな様子なのでしょう？ 実は、京都駅を出るときから和知まで、電車は通勤通学の人たちでずっと満員なのです。座って来られる学生はとってもラッキー！ そんな日はその日の授業の予習をしているのかもしれませんが。心優しい学生はお年寄りに席を譲ることも……。山陰線は利用者が少なくなつたと言われますが、時間帯によっては満員です。まだまだみんなの貴重な足であることは間違いありませんね。

ちなみに、電車通学の学生は5人。校長先生をはじめとして先生も5人がお世話になっています。



Pick Up!

12月の講義予定

◆12月14日 森林保護

旧和知第2小学校(京丹波町篠原)のイチヨウの木の樹勢回復実習を行います。



校長室より

南側の年輪幅は広い？

山の中ハイキングの一行、登山道の脇に新しい伐り株を見つけました。年輪がはっきり見えます。「ワッ、バウムクーヘンみたい」

確かにその通り、しかしちょっと待った！ バウムとは樹木のこと、クーヘンとはケーキのドイツ語。実は伐り株が本家なのでした。

そして誰かが「ほら、こっちの年輪幅広い、だからこっちが南」「どうして?」「木の南側は、日当たりがよい。だから光合成も盛んで成長がいいんだ」「ああ、小学校でそんなこと習ったなア」

ちょっと待った！ もう一度。確かに南側の枝の葉は、光をよく受けて光合成も盛ん、しかしその生産物が、真直ぐ幹の中を流れ降りて南側の幹に溜ま

る(=太る)わけではありません。

伐り株の年輪が同心円にならず、年輪幅に片寄りがあるのは、実は斜面の向きの影響が大きいのです。傾斜地で幹を支持するのに、根株近くの幹が片寄った成長をする為です。斜面下方への成長を強化して、幹を下から支えようとするれば斜面下方向の年輪幅が広くなり、これがスギ、ヒノキなど針葉樹一般の形。逆に、斜面上方への成長を強化して、幹を上から引っ張ろうとするれば斜面上方向の年輪幅が広がります。これがナラ、ブナ、カエデ、シイ、カシなど広葉樹一般の形なのです。

「山で迷ったら伐り株を見なさい。年輪幅の広い方が南」、これは危ない危ない。

(校長 只木良也)